

## 平成29年の貿易概況

### ●東京税関管内の平成29年貿易概況が発表

東京税関は1月24日、東京港・成田空港・羽田空港における「平成29年分 貿易概況(速報)」を発表しました。これによると、各港で輸出入額ともに増加しています。

今回は、東京税関の資料から昨年(平成28年)の東京港・成田空港・羽田空港における輸出入の状況等についてみていきます。

### ●東京港では17年連続の輸入超過

平成29年の東京港における輸出額は58,621億円、前年比0.7%増と、2年ぶりに増加しました。

主な増減品目をみると、「内燃機関」2,892億円(対前年伸率29.8%)、「自動車の部分品」4,056億円(同19.2%)、「電算機類の部分品」3,520億円(同16.2%)などが増加しました。また、輸出額が減少した項目は「科学光学機器」1,781億円(同▲31.0%)などでした。

一方、輸入額は116,945億円、前年比10.5%増でした。輸出額との差引額は▲58,324億円と過去最大、17年連続の輸入超過となりました。

主な増減品目については、「電算機類」6,336億円(同16.7%)、「魚介類・同調製品」5,498億円(同15.5%)、「IC」3,324億円(同25.4%)などが増加し、「紙類・同製品」1,205億円(同▲2.2%)などが減少しました。

### ●成田空港は輸入が2年ぶりに増加

成田空港における輸出額は111,690億円、前年比23.6%増で、5年連続の増加となりました。

主な増減品目をみると「科学光学機器」6,664億円(同25.0%)、「電気回路等の機器」4,472億円(同37.8%)、「電気計測機器」3,484億円(同40.0%)などが増加し、「映像記録・再生機器」1,341億円(同▲12.4%)などが減少しました。

輸入額は122,295億円で、前年比8.1%増加。輸入は2年ぶりに増加し、差引額10,605億円の輸入超過となりました。

した。

主な増減品目は「通信機」19,220億円(同18.4%)、「半導体等製造装置」3,261億円(同85.2%)、「電算機類」9,063億円(同17.5%)などが増加し、「医薬品」12,627億円(同▲10.2%)などが減少しました。

### ●羽田空港は輸出入ともに過去最大

羽田空港における輸出額は4,588億円、前年比37.7%増加しました。輸出入ともに過去最大で、輸入超過(差引額▲3,941億円)は8年連続です。

主な増減品目については、「再輸出品」2,492億円(同84.3%)、「映像記録・再生機器」240億円(同34.0%)、「金属製品」149億円(同61.3%)などが増加し、「電気回路等の機器」183億円(同▲31.1%)などが減少しました。

輸入額は8,529億円で、前年比22.9%で4年連続の増加です。

主な増減品目は「IC」820億円(同675.4%)、「科学光学機器」463億円(同271.3%)、「原動機」695億円(同50.3%)などが増加し、「航空機類」1,417億円(同▲42.8%)などが減少しました。

東京税関管内では、輸出額は177,415億円(全国比22.7%)、前年比15.2%増加、輸入額は254,965億円(全国比33.9%)、前年比9.8%増加しました。差引額▲77,550億円で、17年連続の輸入超過となりました。

主な増減品目をみると、輸出では「半導体製造装置」「電気回路等の機器」「自動車の部分品」などが増加し、輸入では「通信機」「IC」「電算機類」などが増加しました。

より詳しい内容は、東京税関ホームページ(<http://www.customs.go.jp/tokyo/etu/ftp/nenkaku.htm>)で「平成29年分 貿易概況(速報)」および各港別の貿易概況がご覧いただけます。なお、資料についてのお問い合わせは東京税関調査部調査統計課(03-3599-6385)までお願いします。

## 東京今昔物語485

## 川を彩る「染め」のギャラリー

染色の歴史の中で、技法が飛躍的に発展したのは江戸時代だったそうです。江戸・神田の紺屋町は江戸染色の中心地で、安藤広重や葛飾北斎などの浮世絵にも描かれました。明治・大正になると、紺屋町の染色職人たちは、よりきれいな水を求めて神田川・妙正寺川流域に移り、最盛期は300軒超の関連



業が集積しました。今でも落合・中井界限には、技術を受け継ぎ、新しい染色を提案する職人・作家たちが集まり「染の街」としての伝統や価値を発信中。2月23日(金)～25日(日)の3日間は、住民主体の「染の小道」が開催され、妙正寺川には色とりどりに染められた布がたなびく光景が見られます。